

UHF 帯 RFID フレームゲート

工場、店舗などの商業施設、図書館、倉庫や病院・介護施設などでの UHF 帯 RFID の利用が拡大しており、ゲートで RFID タグを読み取って通過検知を行う運用も拡大しています。

RFID フレームゲートは、片側に RFID リーダ 1 台とアンテナ 2 台を、もう片側にアンテナ 2 台を装備してゲートでのタグの通過検知を行うものです。



施設別の用途例

工場・倉庫 での運用：
生産工程での履歴管理や物品の入出庫管理

店舗 での運用：
未清算の商品に付いているタグの検知

図書館 での運用：
貸出し処理がされていない本に付いているタグの検知

病院・介護施設 での運用：
患者や入所者、医療機器などの通過検知

特徴

フレーム構造を採用する事により、一般的なゲートより安価です。

構成

- ① RFID フレームゲート本体 : 1 対 (2 台)
- ② UHF 帯 RFID リーダ : 1 台 (Impinj Speedway R700 他)
- ③ RFID アンテナ : 4 台 (Times-7 A5010)
- ④ アンテナケーブル : 4 本
- ⑤ オプション : GPIO Box、通過センサ、パトライト

※ リーダおよびアンテナは他機種でも可能

仕様

寸法	440mm (幅) × 443mm (奥行) × 1607mm (全高)
重量	17.0kg (ゲート本体・1 台の重量)
移動	キャスター (固定ロック付き)、アンカー設置可能

注) 寸法、形状は変更する場合があります。